

二〇一九年度 茨城キリスト教大学入学試験問題

国語 (A日程)

(解答は解答用紙に記入すること)

I 次の文章を読み、後の問に答えなさい。

①世界イメージが宿る「心」^心はいったいどこにあるのだろうか。

②ひとまず、「脳」にあるという回答が出てくるはずだ。心臓にあるというロマンティックな回答をする人は、今やますます少なくなっている。

③脳はいまもつとも注目されている研究分野の一つである。これは、PET(陽電子放射断層撮影法)だのfMRI(機能的核磁気共鳴断層画像法)だのといった、脳自体にあまりダメージを与えることなく、脳内のありさまを計測する技術が急速に発達したためだ。これらの先端技術を利用すれば、これまで推察することしかできなかった心のありさまもAに分析できるだろうというわけである。

④とはいえ、すべての心のはたらきを脳の活動だけに帰着させるのは、どうも無理がある。むしろ心は、身体全体の活動と関わっていると考えるほうが、はるかに納得がいく。

⑤前述のように、色や痛みなどのクオリアは、^{注1}知覚器官からえられる感覚や、さらにそれが引き起こす感情と密接にむすびついている。ここで一つ古典的な質問を思いだしてみよう。^{注2}

⑥それは、「はたして怖いから鳥肌が立つのか、それとも鳥肌が立つから怖いのか?」というものだ。

⑦昔の回答は、「1」がほとんどだった。もう少し一般的にいうと、脅されるなど何らかの理由で、脳の中に「怖い」という感情が発生し、それが身体の各部分につたわって、鳥肌が立ったり、脚が震えたりするのだ、と考えられていたのである。

⑧しかし、いまの脳科学者は逆に、「2」と回答する人が多いだろう。まず全身の身体反応があり、その状態を脳がモニターした結果、「怖い」という言語的体験が生じるという。恐怖だけではない。「笑うから嬉しい」のであり、「泣くから悲しい」のだ。つまり、身体とはいわば感情の原器^{注3}に他ならないのである。

⑨これは「ジェームズ・ランゲ説」と呼ばれる。正確にいうと、「自覚的な感情の体験より、末梢神経の生理学的反応が先行する」という理論である。

ジエームズもランゲも一九世紀の学者で、発想自体はかなり B (注4) なのだが、最近、脳内計測による実験結果もえられ、アントニオ・ダマシオ (注6) など有力な脳科学者によって熱烈に支持されるようになった。

⑩普通に考えると、「3」というのは、ちょっと不思議な気もしないではない。何か理由があつて怖いのであり、鳥肌が立つのはその表現だという常識は、われわれにしつかり染みついているのである。

⑪だが、イヌやネコはともかく、ネズミのような、脳がもつと原始的な動物を考えてみよう。彼らの脳には、複雑微妙な感情など宿りそうにはない。だが、そんな彼らも、命の危険にさらされると、毛を逆立て、全身をふるわせる。あるいは瞬間的に逃げだす。そういう C (注6) な反応がなければ、生きていけないだろう。ネズミだけでなく、魚も虫も同じことだ。生物進化史をふりかえれば、複雑な感情よりもまず身体反応ありきという仮説は、まことに腑に落ちるのである。

⑫「4」という常識は、いかにわれわれが頭デッカチの幻想にとらわれているかを示している。生き物であることを忘れ、言語論理中心、人間中心の幻想にとっぷりつかっていたことが、一九八〇年代人工知能の失敗の遠因ではなかったか。

⑬関連して、左脳と右脳の問題にふれておこう。

⑭よく言われるように、人間の左右の脳の機能は対称ではない。左脳にはウエルニッケ野やブローカ野など言語論理を担当する部分があり、右脳では映像や音響など感覚イメージを処理する部分がある（ただし右利きの場合）。

⑮それで昔は、左脳がおもに人間の精神活動をつかさどると見なされ、「優位脳」とよばれていた。これにたいして右脳は「劣位脳」である。この呼び名から連想されるのは、人間とは D (注7) な存在であるべきであり、情念に振り回されてはならない、といった主張である。まあ、こういった主張もそれなりの長所はあるが、人間の精神活動の主要部分は左脳の言語論理である、というのはまったくの誤りなのである。

⑯このことは、脳に損傷をうけた患者の様子から一目瞭然だ。左脳が傷ついた患者の多くは、言葉が不自由でいかにも辛そうだが、自分の悲しい状況をきちんと理解している。一方、右脳に損傷をうけた患者は、一見したところ元氣そうで普通にしゃべっている。だが実は、人格の深いところが粉々に壊れてしまっている場合が多い。自分の置かれた状況や、行為の意味などを E (注7) できなくなるのだ。たとえ左半身が麻痺していても、自分は完全に正常だと思ひこむ者もいる。

⑰この種の患者は「病微不覚症 (anosognosia)」と呼ばれ、ダマシオによれば「情動と感情がどこにも見当たらない」のである（ダマシオ『生存する脳』、邦訳、一二四頁）。悲惨なことに、彼らはいくら言葉がしゃべれても、普通の社会生活を送ることはできなくなってしまう。単に芸術的感動がなくなるといっただけではない。ビジネスや勉強などで合理的な行動をするためにも、左脳の論理的推論だけでなく、右脳の意欲や感情が絶対に不可欠なのだ。

⑱ただしここで、忘れてはならないことがある。感情は、右脳のイメージ機能だけでなく、左脳の言語中枢機能とも深く関連している、ということだ。

⑲実際、そうでなければ、詩歌芸術など成立しない。われわれは身体反応を言葉で表現するだけでなく、言葉から身体反応が導き出されることもある。後者は、人間の脳のシミュレーション機能に対応している。

⑳だからわれわれは、周囲に何も起きていないのに感情が高ぶることがある。何年も前に言われた侮辱の言葉を思いだして怒りがこみあげてきたり、恋人の甘いささやきが浮かんできつたり回想にふけつたりする。

㉑たぶん、こんなことは動物にはないだろう。言語的想像力のおかげで、われわれはいま自分の生きる時空間とはまったく異なる時空間を、脳のなかでつくりあげることができる。人間とはそういう F な脳をもった生き物なのだ。

㉒まず「言葉」ありき、「論理」ありきといった、^Z転倒した近代的信念がうまれてくる理由はここにある。ここから、「5」という誤った常識もうまれてきたのだ。

(西垣通『集合知とは何か』より)

(注1) 前述のように……………「前述」とは、この本文より前の部分をさす。

(注2) クオリア……………この本文よりの前の部分によれば、個人が経験する「感じ」。たとえば、同じ真つ赤なバラを見ても、人によってロマンティックな感じを受けたり毒々しい感じを受けたりする。その「感じ」が「クオリア」であると言う。

(注3) 原器……………この文章では、感情をうみだす母体のこと。

(注4) ジェームズ……………ウィリアム・ジェームズ(一八四二年〜一九一〇年)。アメリカの心理学者。

(注5) ランゲ……………カール・ランゲ(一八三四年〜一九〇〇年)。デンマークの生理学者。

(注6) アントニオ・ダマシオ……………一九四四年生まれ。ポルトガル系アメリカ人の神経学者。

(注7) ウェルニッケ野やブローカ野など……………「ウェルニッケ野」も「ブローカ野」も人間の脳の部分の名前。

問一 空欄 A 〱 F に入れるのに最もふさわしい言葉を、それぞれア～エから選び、記号で答えなさい。

- | | | | | | | | |
|---|-----|---|------|---|-----|---|------|
| A | 科学的 | イ | 理想的 | ウ | 現代的 | エ | 現実的 |
| B | 近代的 | イ | 先鋭的 | ウ | 原始的 | エ | 古典的 |
| C | 意識的 | イ | 無意識的 | ウ | 論理的 | エ | 非論理的 |
| D | 本能的 | イ | 精神的 | ウ | 理性的 | エ | 意識的 |
| E | 肯定 | イ | 記憶 | ウ | 表現 | エ | 把握 |
| F | 特異 | イ | 優秀 | ウ | 異常 | エ | 難解 |

問二 空欄 1 〱 5 には、「怖いから鳥肌が立つ」と「鳥肌が立つから怖い」のどちらかの文が入ります。「怖いから鳥肌が立つ」が入る箇所を1～5から選んで、すべて書きなさい。

問三 傍線部Xは、なぜなのか、その理由を最も端的に述べている一文が傍線部X以降の本文中にあります。その最初と最後の五文字を書きぬきなさい（句読点を含みます）。

問四 傍線部Yは、具体的には何を述べていますか。最もふさわしいものをア～エから選び、記号で答えなさい。

- ア 人間は、左脳の言語中枢が重要な役割を果たすことによつて複雑な現代社会に適応できること。
- イ 人間は、言語によつて、具体的な実体験だけでなく抽象的な論理についても考えることができること。
- ウ 人間は、外から何の刺激を受けなくても、自分の思い浮かべた言語によつて身体反応や感情を引き起こすことができること。
- エ 人間は、左脳の言語中枢の働きにより想像力がゆたかであり、そのため非現実的なストーリーや情景も描き出すことができること。

問五 傍線部Z「転倒した近代的信念」とほぼ同じ意味で言われていることばを、本文中から八文字で書きぬきなさい。

問六 この文章は二十二の段落から成ります(文章に①から⑳まで段落の番号をつけてあります)。この文章は内容の面から大きく四つに分けられます。その四つの部分の始まりの段落として正しいものをア～エから選び、記号で答えなさい。

- | | | | | |
|---|------------|------------|------------|------------|
| ア | 一つめの部分∥段落① | 二つめの部分∥段落⑤ | 三つめの部分∥段落⑩ | 四つめの部分∥段落⑱ |
| イ | 一つめの部分∥段落① | 二つめの部分∥段落④ | 三つめの部分∥段落⑬ | 四つめの部分∥段落⑱ |
| ウ | 一つめの部分∥段落① | 二つめの部分∥段落④ | 三つめの部分∥段落⑪ | 四つめの部分∥段落⑳ |
| エ | 一つめの部分∥段落① | 二つめの部分∥段落⑤ | 三つめの部分∥段落⑬ | 四つめの部分∥段落㉑ |

問七 次の1～6の文について、本文の内容にふさわしいものには○、そうでないものには×をつけなさい。

- 1 人間の「心」と心臓は無関係であり、「心」は脳の働きのみによって生み出される。
- 2 人間が日々の社会生活を送る上で、右脳の働きも左脳の働きも同じくらい重要である。
- 3 感情よりも身体反応のほうが先に現れるという説は、いまの科学者の多くに支持されている。
- 4 感情は、イヌ、ネコ、ネズミなどすべての動物にあるが、言語はそうではない。
- 5 詩歌芸術などが成立するのには、高度な言語運用能力が欠かせない。
- 6 人間の「心」はどこにあるのかという問いへの答えとして、一つの特定の器官を挙げることはできない。

Ⅱ 次の各問に答えなさい。

問一 次の①～⑤の傍線部の漢字の読みを、ひらがなで書きなさい。

- ① その議長はハラスメント発言により更迭された。
- ② この町の廃れた商店街を再興しよう。
- ③ この車のデザインは斬新だ。
- ④ 捕虜を虐げてはならない。
- ⑤ 水辺には蛍が行き交っていた。

問二 次の①～⑤の傍線部のカタカナを漢字で書きなさい。

- ① ライオンは食物レンサの頂点に立っている。
- ② この薬はジヨウ強壮に効果がある。
- ③ 台風がモウイをふるった。
- ④ 上空を飛行機がセンカイしている。
- ⑤ タイダな生活態度は改めよう。

問三 次の①～⑤の四字熟語中の□に当てはまる漢字を、それぞれa～dから選び、記号で答えなさい。

- | | | | | | | | | | |
|---|------|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ① | □急存亡 | a | 記 | b | 氣 | c | 忌 | d | 危 |
| ② | 外柔内□ | a | 郷 | b | 業 | c | 剛 | d | 豪 |
| ③ | 隔□搔痒 | a | 歌 | b | 靴 | c | 華 | d | 課 |
| ④ | □視眈々 | a | 孤 | b | 仔 | c | 虎 | d | 姑 |
| ⑤ | 自□撞着 | a | 家 | b | 化 | c | 科 | d | 加 |

問四 次の①～⑤の慣用句（傍線部）中の漢字が正しければ○を、間違っていれば正しい漢字一字を書きなさい。

- ① 欠席者が多くて、教室は櫛の歯が抜けたような状態だった。
- ② あまり出しゃばると、出る杭は打たれるよ。
- ③ その音楽は、彼女の筋線に触れた。
- ④ 彼のわがままな行動はいつものことだが、今度ばかりは肝に据えかねる。
- ⑤ 彼に悩みを相談しようとしたが、とりつく暇もなかった。

問五 次の①～⑤の意味を表す語句として最もふさわしいものを、それぞれ a～d から選び、記号で答えなさい。

① 相手の言動を素直に受け取らず、わざと実際と違うように受け取ること。

- a 偽装する b 偽造する c 歪曲する d 曲解する

② 失敗した時など、一時しのぎに適当なことを言って、その場の体裁を整えること。

- a 言いつくろう b 言いのがれる c 言いくるめる d 言いつのる

③ 途切れることなく次から次に注文や情報が入ってきたり、人が訪れたりするようす。

- a 引く手あまた b 引きも切らず c 矢の催促 d 矢継ぎ早

④ 物事を始めたり終えたりするのにちょうど良い時機。

- a 潮時 b かき入れ時 c 引き際 d 往生際

⑤ 言動が荒々しくて、洗練されていないこと。

- a 粗悪 b 粗野 c 粗末 d 粗雑

国語模範解答 (A日程)

I

| | |
|----|---|
| 問一 | A |
| | ア |
| | B |
| | エ |
| | C |
| | イ |
| | D |
| | ウ |
| | E |
| | エ |
| | F |
| | ア |
| 小計 | |

| | |
|----|-------|
| 問二 | 1、4、5 |
| 小計 | |

| | | | | | | | | | | | | |
|----|--------|---|---|---|---|---|--------|---|---|---|---|---|
| 問三 | 最初の五文字 | ビ | ジ | ネ | ス | や | 最後の五文字 | 欠 | な | の | だ | 。 |
| 小計 | | | | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | |
|----|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 問四 | ウ | | | | | | | |
| 問五 | 頭 | デ | ッ | カ | チ | の | 幻 | 想 |
| 問六 | イ | | | | | | | |
| 小計 | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | | | | |
|----|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 問七 | 1 | × | 2 | ○ | 3 | ○ | 4 | × | 5 | × | 6 | ○ |
| 小計 | | | | | | | | | | | | |

II

| | | | | | | | | | | | | | |
|----|---|------|---|----|----|---|------|---|-----|----|---|---|----|
| 問一 | ① | こうてつ | ② | すた | れた | ③ | ざんしん | ④ | しいた | げて | ⑤ | か | って |
| 小計 | | | | | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | | |
|----|---|----|---|----|---|----|---|----|---|----|
| 問二 | ① | 連鎖 | ② | 滋養 | ③ | 猛威 | ④ | 旋回 | ⑤ | 怠惰 |
| 小計 | | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | | |
|----|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 問三 | ① | d | ② | c | ③ | b | ④ | c | ⑤ | a |
| 小計 | | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | | |
|----|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 問四 | ① | 欠 | ② | ○ | ③ | 琴 | ④ | 腹 | ⑤ | 島 |
| 小計 | | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | | |
|----|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 問五 | ① | d | ② | a | ③ | b | ④ | a | ⑤ | b |
| 小計 | | | | | | | | | | |

| |
|----|
| 総計 |
| |

受験番号